# ファッション・トークス　バックナンバー目次

※このリストは、2021 年 10 月 29 日現在のものです。
　在庫状況につきましては、「出版物の在庫状況」をご覧ください。

## *Fashion Talks...* SPRING 2015 / VOL. 1

[特集：下着　underwear]

■布をめぐる一喜一憂
　木下直之
■大正・昭和初期における洋装下着の受容
　青木美保子
■下着をめぐる眼差し
　鹿島茂
■収蔵品から読み解くファッション：18 世紀から 1920 年代の下着
■男らしさの誇張と男性の下着
　ショーン・コール
■新収集品紹介
[展覧会レビュー]
　□「服の記憶―私の服は誰のもの？」展を終えて
　　辻瑞生
　□Hippie Chic／デュフィ／美少女の美術史／更紗の時代／繋ぐ術　田中忠三郎が伝える精神
　□KCI ギャラリー「コルセットの世界」

## *Fashion Talks...* AUTUMN 2015 / VOL. 2

[特集：下着②　underwear 2]

■パブリックな下着とプライベートな下着――身体感覚の変容と羞恥心
　徳井淑子
■いわゆる「チラリズム」について
　井上章一
■すれ違う男女とパンティ――『スカートの下の劇場』をめぐって
　上野千鶴子　（聞き手：石関亮、小形道正）
■収蔵品から読み解くファッション 2
■新収集品紹介 33
■熱狂と羞恥心――19 世紀のパリ、ロンドン、ニューヨークにおけるゴム製衣類
　マニュエル・シャルピー
[展覧会レビュー]
　Jeanne Lanvin／Déboutonner la mode

## *Fashion Talks...* SPRING 2016 / VOL. 3

[特集：経済①　economy 1]

■ヨーロッパにおける百貨店の成立過程と現代との繋がりについて
　北山晴一
■「モード都市」パリのファッション産業前史
　角田奈歩
■収蔵品から読み解くファッション 3
■消費の近代化と初期百貨店
　神野由紀
■日本におけるアパレル産業の形成
　木下明浩
■新収集品紹介
[展覧会レビュー]
　Jean Paul Gaultier／Dries Van Noten. Inspirations

## *Fashion Talks...*AUTUMN 2016 / VOL. 4

［特集：経済②　economy 2］

■現代社会とファッションの未来
見田宗介

■ラグジュアリーブランドの現状と日本ブランドの課題
長沢伸也

［展覧会レビュー1］

□三宅一生展
本橋弥生

□PARIS オートクチュール展
岩瀬慧

□ゲーム・チェンジャーズ
カート・デボ

□メディアと流行
難波功士

□世界資本主義の夕暮れに、極楽鳥は羽ばたくか？
原閑

［展覧会レビュー2］

□Modern Beauty／Anatomie d’une collection／西洋更紗トワル・ド・ジュイ

■新収集品紹介

## *Fashion Talks...* SPRING 2017 / VOL. 5

［特集：教育①　education 1］

■衣服デザイン教育の試み
柏木博

［展覧会レビュー1］

□七彩に集った作家たち
中尾優衣

□モードとインテリアの 20 世紀
宮内真理子

□学校教育がつくったモダンな女性の身体とファッション
木村涼子

□桑沢洋子と桑沢デザイン研究所のファッションデザイン教育
常見美紀子

□スタイル画は何の技術か
井上雅人

［展覧会レビュー2］

□教育者としてのデザイナー／Elegance and Splendour of Art Deco

［展覧会紹介］

□ファッションとアート

■新収集品紹介

*Fashion Talks...* AUTUMN 2017 / VOL. 6

［特集：教育②　education 2］

■近代アメリカ女性の服作り
平芳裕子

■「家庭科」をめぐるポリティックスの中の衣生活教育
堀内かおる

［展覧会レビュー］

□花森安治の仕事
矢野進

□生誕 100 年長沢節展
内田静枝

□19 世紀パリ時間旅行
小野寛子

■新収集品紹介

■規範とそのファントム
佐藤愛

■日本の「制服ファッション」
米澤泉

■生活着の着物と衣服を作ること（上）
小形道正

*Fashion Talks...*SPRING 2018 / VOL. 7

［特集：ミュージアム①　museum 1］

■【KCI 設立 40 周年記念インタビュー】 文化を創る（第 1 回）――KCI とともに 35 年
深井晃子

■ミュージアム政策の不在――美術館の公共的価値とは何か
小林真理

［展覧会レビュー］

□Rei Kawakubo/Comme des Garçons: Art of the In-Between 展
アンドリュー・ボルトン

□境界のファッション展
平芳裕子

■工芸とアヴァンギャルド――ファッションと美術館の関係にかんする前提的考察
北澤憲昭

■なぜファッション展は人々を惹き付けるのか？
ヨゼ・テウニッセン

［展覧会レビュー］

□The House of Dior: Seventy Years of Haute Couture 展
ケイティ・サマーヴィル

□ボストン美術館 パリジェンヌ展――時代を映す女性たち
柳澤宏美

■新収集品紹介

*Fashion Talks...*Autumn 2018 / VOL. 8
[特集:ミュージアム② museum 2]
■【KCI 設立 40 周年記念インタビュー】文化を創る(第 2 回)――未来は根源に
小池一子
[展覧会レビュー]
□「Items: Is Fashion Modern?」展
パオラ・アントネッリ
□「Margiela / Galliera 1989-2009」展
アレクサンドル・サムソン
■観光客を招待する――美術館における展覧会の現状と葛藤と展望と
桝田倫広
■美術批評の公共性
福住廉
■カタログアーカイブの形成と展覧会批評の磁場――東京大学駒場博物館資料室の軌跡と学術教育活動の実践
今橋映子
[展覧会レビュー]
□「装飾は流転する Decoration never dies, anyway」展
田中雅子
□「イメージを織る タピスリー―国境も時代も超えて紡がれる人間の営み」展
谷口依子
■生活着の着物と衣服を作ること――終戦から 1950 年代(下)
小形道正
■ 新収集品紹介

*Fashion Talks...*SPRING 2019 / VOL. 9
[特集:自己① self 1]
■【KCI 設立 40 周年記念インタビュー】文化を創る(第 3 回)――名づけえぬ仕事
金井純
[展覧会レビュー]
□「Fashioned from Nature」展
エドウィナ・エアマン
□「A Taste for the Exotic: European Silks of the Eighteenth Century」展
アンナ・ジョリー
■自己イメージの歴史的変遷について
斎藤環
■衣装と自己と、その視線――ステロタイプの考古学的考現学
佐藤俊樹
■ストリートファッションに見られるコーディネートの変遷と自己
渡辺明日香
[展覧会レビュー]
□「Fashion Unraveled」展
コリーン・ヒル
□「現代の織Ⅲ 朝倉美津子」展
三谷渉
[展覧会のお知らせ]
□「ドレス・コード?――着る人たちのゲーム」展
■新収集品紹介

*Fashion Talks...*Autumn 2019 / VOL. 10
[特集：自己②　the self 2]
■【KCI 設立 40 周年記念インタビュー】 文化を創る（第 4 回）――美術館と展覧会の未来
河本信治
[展覧会レビュー]
□「岡上淑子　フォトコラージュ　沈黙の奇蹟」展
神保京子
□「自然布―草木で織りなす―」展
小野純子
□「ある編集者のユートピア　小野二郎：ウィリアム・モリス、晶文社、高山建築学校」展
矢野進
■自己、写真、ファッション―アウラの凋落とファッション文化
長谷正人
■衣服は嘯く：服を着ることの「真理」
荒谷大輔
[展覧会レビュー]
□「Kimono Refashioned」展
森嶋由紀
□「服の向こうに見える世界――〈アート〉の軌跡」展
松坂雅子
■インタビュー：共有するアイデンティティ：自己、他者、アンドロイド
石黒浩
■新収集品紹介
[展覧会のお知らせ]
□「ドレス・コード？――着る人たちのゲーム」展

*Fashion Talks...*Autumn 2020 / VOL. 11
[特集：スポーツ①　sports 1]
■スポーツと時代精神の幻像――オリンピックがはじめてやって来るころ
内田隆三
■ファッション展は遅延性の衝突により批評する
保坂健二朗／Kenjiro Hosaka
■ドレス・コード？――編む人たちのゲーム
工藤雅人／Masato Kudo
■規範と逸脱――老いる身体、はぐれる身体
星野太
[展覧会レビュー／EXHIBITION REVIEWS]
□「ラウル・デュフィ展――絵画とテキスタイル・デザイン」
宮内真理子
□「ミナ　ペルホネン／皆川明　つづく」展
森　千花
■新収集品紹介
■オリンピック日本代表選手団開会式用ユニフォームの歴史――日の丸カラーの系譜を中心に
安城寿子
[展覧会レビュー]
□「名物裂と古渡り更紗」展
佐藤留実
□「マリアノ・フォルチュニ　織りなすデザイン」展
筒井直子
[展覧会のお知らせ]
□「ドレス・コード？――着る人たちのゲーム」展

*Fashion Talks...*Autumn 2020 / VOL. 12
[特集:スポーツ② sports 2]
■テクノロジーを愛するスポーツの現在地点
柏原全孝
■衣服とコンテクストの力学としてのドレス・コード
門脇耕三
■脱コード化をもとめてきた着衣たち、それでも再コード化を欲する展覧会のゲーム――パンデミック下の(ドレス・)コードのなかで
新藤淳
■「自己への配慮」としての筋トレ
千葉雅也
[展覧会レビュー]
□「世界をひらく」展
高井多佳子
□「Yves Saint Laurent: Les coulisses de la haute couture à Lyon」展
エスクラモンド・モンテイユ
□「Kimono: Kyoto to Catwalk」展
アンナ・ジャクソン
■ eスポーツから考える――身体、技術、コミュニケーションの現在と未来
吉田寛
■新収集品紹介
■展覧会と人をつなぐ――「ドレス・コード?」展におけるKCIの教育普及活動について
筒井直子
[展覧会のお知らせ]
□「ドレス・コード?――着る人たちのゲーム」展

*Fashion Talks...* 2021 / VOL. 13
[特集:メディア① media 1]
■感性のメディア――20/21世紀ファッション写真史
伊藤俊治
■写真以前のファッション・メディア――ファッション・プレート、広告、アート
内村理奈
■デジタルメディア時代の「ファッション」――デジタルプラットフォームのアーキテクチャが形作るコミュニケーション
藤嶋陽子
●KCIコレクション1[収蔵品紹介①・②]
[展覧会レビュー①・②]
□「髙島一精の仕事――「ネ・ネット」のデザイン」展
新居理絵
□「文字をまとう――服に表れた言葉」展
筒井直子
■プラスチックを用いた美術作品の保存修復の流れとその事例
池田芳妃
■服飾文化財に用いられたプラスチックの同定と収蔵方法の改善
佐藤萌・塚田全彦
[展覧会レビュー③・④]
□「FastFashon. The Dark Sides of Fashion」展
クラウディア・バンツ
□「Gabrielle Chanel. Manifeste de mode」展
ヴェロニク・ブロワ
■非日常化する着物と衣服を買うこと――1960年代から1980年代(上)
小形道正

［展覧会レビュー⑤･⑥］
□「きものKIMONO――Fashioning Identities」展
小山弓弦葉
□「写真とファッション――90年代以降の関係性を探る」展
伊藤貴弘
●KCIコレクション2［収蔵品紹介③･④］